

■Your Party 結成大会におけるザラ・サルタナ氏のスピーチ

2025 年 11 月 30 日

コベントリー・サウス選出の党所属議員です。晴れたリバプールに本日お越しいただき感謝申し上げます。リバプールサポーターとして、そして常にそうであるように、「決して独り歩かない」と宣言できることに格別な喜びを感じます。

独りでは歩かない。まず立ち上がり、この大会を実現させた全ての労働者に感謝を述べたい。PCS 組合とストライキ中のテープ労働者への連帯を表明する。我々の連帯はあなた方と共にあります。

この党を共同創設できたことを大変光栄に思う。ジェレミーと共にこの党を創設できたことを光栄に思います。彼には計り知れない敬意と尊敬を抱いています。私が皆の気持ちを代弁していると確信しています。彼が労働党党首に就任した時、私たちに希望を与えてくれたと私が言う時、それは皆の気持ちを代弁していると確信しています。

しかし今、私たちは新たなものを築いています。あなたの党 55,000 人以上の党員を擁する党です。わずか数ヶ月で、私たちはウェストミンスターのもが不可能だと思っていたものを築き上げました。大衆的民主主義の労働者階級運動、1940 年代以来英国最大の社会主義政党です。1940 年代以来となります。そしてこの創立大会は歴史的だ。この会場には 2,000 人以上の代議員が集いさらに数千人がオンラインで視聴し投票している。本日我々は党の組織体制を最終決定します。

この党は議員のものでも、寄付者にも、無名で顔の见えない選出されていない官僚たちに属するものでもなく、党員であるあなた方に属するものです。

集団指導体制を採用する決定は私の勝利だと言う者もいるでしょう。しかしそれは違います。これはあなた方の勝利です。勝利したのは、党員である皆さんです。しかし、この勝利を形にするのは皆さん次第です。ですからご自宅でご覧の方は、携帯電話を取り出してください。この会場におられる方は、修正された党規約に賛成票を投じてください。

しかし、前に進む前に、私たちは昨日の出来事を直視しなければなりません。除名、参加禁止、会議場での検閲といった行為は許されません。非民主的です。これはメンバーとこの運動への攻撃です。そしてそれらの決定はトップによって下されたもので、あなたたちによるものではない。除名された人々の多くはリバプールに到着して初めてその事実を知った。国中を旅し、仕事を休んで時間を割き、ホテルを予約し、簡単に取戻せない数百ポンドを費やした人々がドアの前で立ち入り禁止を告げられたのだ。そして、余裕のない数百ポンドを費やした人々が、入り口で入場を拒否されたことを知ったのです。そして、ムスリムの女性が乱暴に扱われ、会議場から引きずり出されるという衝撃的な光景は、平等と正義を掲げると主張するいかなる政党も恥じるべきものです。

これらの行動はまさに労働権利ハンドブックからそのまま出てきたものです。我々が長年経験してきたのと同じ手口です。魔女狩り、中傷、脅迫、いじめ、法的脅威、そしてマードック系メディア

による情報漏洩。はっきり言おう。党員はこれを許さない。運動もこれを許さない。そして私もこれを許さない。

私が労働党を離れたのではありません。あなたが労働党を離れたのは、別の労働党を作るためではありません。そして私が 30 以上の町や都市を巡った全国どこでも、町や都市を旅して回った中で、ワースリングからグラスゴーまで、マーサティッドビルからバーミンガムまで、労働者階級の人々は皆同じことを言っていました。この党は議員ではなく党員によって運営されねばならない。この党は決して上から掌握されてはならない。この党は決して労働党 2.0 になってはならない。だからこそ我々はここに集い新たな政治を築くのです。民主的で、原則に則り、労働者階級の力に根差した政治を。

この場に集う者も、外にいる者も皆、英国は何が問題なのかを知っています。何も機能せず、何も良くならない。この国は金と権力を持つ者たちに仕えるよう仕組まれている。彼らはこの国を買い取り金で買収したのです。我々は彼らを打ち負かすつもりです。彼らが自らの富と権力を守ろうとして我々をファシズムへ導く前に。

我々の診断は単純です。過去 20 年間で、富裕層による政党への巨額献金は単に倍増したのではない。三倍にもなった。いや、四倍にもなったのです。そして彼らは、自らの富と権力を守るために我々をファシズムへ導こうとしている。

過去 20 年間で、富裕層による政党への巨額献金は倍増しただけではありません。三倍になったわけではありません。七倍に膨れ上がったのだ。

食料品価格が上昇するとき、スーパーマーケットの経営者はその差額を懐に入れ、政治家を買収している。家賃が跳ね上がる時、大家はあなたの金を議員へのロビー活動に使い、自らの利益を守るのだ。

海面が上昇し町が水没する時、エネルギー企業の経営者は新たな私用ジェット機を買い増し、代償は我々が払う。億万長者は新聞を買い占め、SNS プラットフォームを掌握し、テレビチャンネルを支配して、混乱の責任を隣人や仲間に向けさせるガスライティングを仕掛ける。彼らは君に怒りを抱かせたいが、自分たちに向けさせるつもりはない。

友人や隣人へのメッセージはこうです。なぜ生活が苦しくなるのか、なぜ全てが悪化するのか知りたいなら覚えておけ。料も住まいもエネルギーもメディアも支配する連中が、そして彼らは三つの政党を労働党、保守党、改革党を完全に掌握しているのだ。

だから君はより長くより激しく働きながらより少ない賃金しか得られず、政治家たちは貧しい子供たちや年金生活者から金を搾り取る。全てが困難になる。オフショア銀行口座が肥大化するだけです。これらの古い政党が決して口にしない唯一の事実、この国には全員分の居場所があるということです。ただし、イギリスを所有し住むだけで金を取っている家主たちを除いては。彼らが真の寄生虫であり、そろそろ彼らを取り締まり、倒す時だ。

そして我々には弱く哀れな労働党政府が存在する。政治の風向きに右往左往するこの政府は英国を所有する寄生虫たちに立ち向かう政治的意志を持たないからだ。

我々はここに、障害を持つ友人や隣人を辱め、彼らが必要とする現金を奪いながら、軍需企業に年間 110 億ポンドもの追加資金を流し込むシステムを打ち壊すために来た。そう、カルマは毎

年 110 億ポンドの追加防衛費を要求し、全ての旧来の政党がこれを支持している。戦争に毎秒 350 ポンドの我々の金が注ぎ込まれている。これは死の商人たちの株主の懐に入る金だ。過去 2 年間、我々の金はガザの廃墟上空での毎日のガザの廃墟上空でのスパイ飛行を毎日資金提供してきた後で、虐殺を幫助している。これは海外でも国内でも人々を抑圧することに満足している労働党政府だ。

これは偶然ではない。リバプールで障害者を攻撃し、小さなボートで到着する絶望的な人々を悪魔化する、小さなボートで到着する絶望的な人々を悪魔化する政治家たちだ。彼らは戦争と占領とジェノサイドで我々の世界を爆破する同じ連中だ。だが我々は知っている、労働者階級の真の敵は移民のボートではなくプライベートジェットで移動するのだと。だから問題はボートを止めることではない。問題はプライベートジェットを止めることだ。普通の人間はどこでも苦しんでいる。そうしてこそ強大で権力ある者たちは血に染まった大邸宅で絹のシーツに包まれて眠れるのだ。

そして社会主義者として我々はスーダンからコンゴ、パレスチナに至るまで、あらゆる抑圧された人々と共に立つ。そして私はこれを大声で誇りを持って言う。私は反シオニストだ。そして我々がそのために戦うならば、あなたの党は反シオニストの党となるだろう。

自由だ。自由、自由、自由をパレスチナに。

だから我々は虐殺的なアパルトヘイト国家イスラエルとのあらゆる関係を断たねばならない。大使を追放し大使館を閉鎖しパレスチナ人民と共に立ち、彼らの土地の一寸たりとも自由になるまで、ヨルダン川から地中海まで、単一の民主国家を。全ての者に平等な権利を与える国家を。そして我々は必ずや虐殺を可能にした者たちへの清算の日を確かなものとする。K スター・デイヴィッド・ラミ・シャバンマフムード及び全ての責任者たちはハーグの法廷に立たせる。

そして運動として、私たちは深くパレスチナを気にかけています。その理由の一つは遠く離れた地で一つの民族が飢えと絶滅に追いやられることが、もし政治家たちが逃げおおせると考えたなら、それは彼らがいかに私たちを扱うかを示しているからです。逃げおおせられると思った場合に、私たちに何をするかを示しているからです。

英国を統治する者たちは、すべての難民がレイプ犯であると信じ込ませようとしている。その一方で、彼らは 1,200 万ポンドもの納税者の金を、アンドルー・マウントバッテン・ウィンザーという寄生虫を保護するために奪い取っているのです。アンドルー・マウントバッテン・ウィンザーは、刑務所の独房も、法廷も見たことがない。英国の支配者たちにとって重要なのは、女性や少女たちの安全ではない。権力者たちの平和と快樂である。なんて病んだ社会だろう、私たちが暮らすこの社会は。政治やメディアのエリートたちが、アンドルー王子を含む王室のために悪名高い小児性愛者ジェフリー・エプスタインと親しい友人であるにもかかわらず、彼に住居を提供したのは私たちのお金だ。法廷で彼を守ったのも、私たちの金です。彼の食卓に食べ物を並べたのも、私たちの金です。まあ、もうそんなことはありませんが。私たちは、アンドルーの称号を廃止するだけではいけません。君主制そのものを廃止すべきです。

真実は、あらゆるエリートを激しく非難する偽のポピュリストが蔓延していることです。真実は、偽のポピュリストが蔓延していることです。彼らは、あらゆるエリートを激しく非難しますが、誰かが富裕税について言及すると、突然、彼らは静かになります。改革UKの支援たちを見てみてください。彼らは寄生虫たちに買収され、その代償を支払われているのです。

しかし、本当のスキャンダルは、この労働党政府が彼らを真似していることです。改革UKファラージが「移民を追い出せ」と言うと、労働党のスターマーは「どれほど強く追い出すべきか」と答え、恥ずべきことに、エノック・パウエルと同じ、エノック・パウエルと同じ言葉を使って、私たちを見知らぬ者たちの島だと言う。私たちは見知らぬ者たちの島ではない。私たちは苦しんでいる島だ。そして、私たちは政治家たちが、実際にお金を持っている人々から責任を絶えず転嫁しているのを見ている。

そして、私たちの内務大臣シャバン・ミムードは、難民から宝石類を押収することについてファシストのトミー・ロビンソンを支持している。そして私たちの政治には、組織化された労働者階級が、「我々の誰かを狙うなら、我々の年金生活者を狙うなら、我々の障害者を狙うなら、我々の移民を、我々のウィアやトランスジェンダーを、誰かを狙うなら、我々全員と戦うことになる」と言う組織化された労働者階級が必要だ。

そして最も周縁化された人々を中心としない政治は社会主義の名に値しない。それはつまり難民はここに歓迎される、トランスジェンダーの権利は人権である、と大声で、そして明確に言うことを意味する。我々が目撃しているトランスフォビア(トランス恐怖症)の台頭は意図的なものだ。それは我々を分断するために設計された、より広範な文化戦争として煽られている。意図的なものだ。これは我々を分断するべく設計されたより広範な文化戦争として煽られている。そしてムスリムや移民、障害者に対する場合と同様に、その目的は常に同じだ。スケープゴートを見つけ真の権力者から人々の目をそらすためだ。支配階級の古くからの戦術、分断統治である。我々の運動は一致団結して宣言せねばならない、我々はあなたのゲームには乗らないと。

私たちはトランスジェンダーの同胞と移民と、ムスリムと、障害者と共に立ちます。最も疎外された者たちと共にあるのです。そして私は、バーミンガムのラオス出身という誇りを持ってここに立っています。私の祖父母は英国の支配者たちが彼らの故郷を略奪した後、この国へ渡ってきた。私たちがここにいるのは、Civ London が言ったように、あなたがそこにいたからだ。私は育つ過程で、政治家や警察官から、私たちの地域は疑わしい、あるいは価値がないと言われた。なぜなら私たちは生まれた瞬間から二つの罪を犯していたからだ。我々はムスリムであり、そして働き者だった。わたしは、どちらに対しても決して謝罪しない。

そして確かに、賭けは大きい。古いものは死に絶えつつあり、新しいものが生まれなければ、これは怪物の時代となる。衰退と腐敗を司る中道政治家たちは人々の怒りを極右支持へと向かわせる。

だが帝国の心臓部であるニューヨークから、新たな政治が生まれる。ゾーラン・マムダニは社会主義者であることを、ムスリムであることを、移民であることを一切詫びない。彼が築いた運動は労働者階級が結束した時に何が可能かを証明した。見た目が異なり、遊び方、祈り方、愛し方が異なるが尊厳ある生活を望む者たち。そこでは人々と地球が共に繁栄する。

この地球規模の戦いに我々が勝たなければ、衰退はファシズムへと道を譲る。そして私のような人々はテントに監禁され、戦乱の地へ強制送還されるだろう。一方で誰もが貧しくなる、ヘッジファンドの運用者たちを除いて、労働者階級や保守派、改革 UK 派に献金する者たちを除いて。しかし我々が勝利すれば、勝利すれば、未来の世代のために再生された世界を引き継ぐことになる。

そして私はこの賭けについて深く考えてきた。これは背負うべき巨大な責任だ。そしてあなたたちはこの党を立ち上げる過程でいくつかのつまづきがあったことに気づいているかもしれない。その一部は私の責任であり、それについては申し訳なく思っている。しかし、私が最初から目指してきたのはこの党が議員ではなく党員である皆さんによって率いられるようにすることだと知ってほしい。設計したこともなければ、組織構造をゼロから構築したこともありません。その過程は混乱を極めました。私たちは互いに協力する方法を改善しなければなりません。あらゆる密室取引の文化に対する最良の解毒剤は、民衆の力であることを確かなものにする必要があります。だからこそ、だからこそ私は最大限の党員民主主義を求めて戦ってきた。そして今朝皆さんの努力が実を結ぶのを目の当たりにした。

私がこう言う時、多くの人の思いを代弁していると確信している。魔女狩りや陰謀を企てる政党など望んでいない。同志愛と平等精神のもと、あらゆる社会主義者と共に働きたい。

そして労働者階級がこの党を掌握することを望む。いずれ彼らが国を掌握すべきように。我々の経済支配権は寄生的な利権者から奪い取り実際に集団的富を生み出す労働者の手に委ねられねばならない。我々は壊れたシステムの微調整のための実験を覆すために、水道、エネルギー、鉄道、交通機関通信を公共の所有に戻す。

しかし我々の野心の限界はそこではない。新たな地平を求めねばならない。銀行業、食料生産、建設業、その他多くの分野です。なぜなら私たちはこの根本的な真実を知っているからです。労働者階級は、億万長者や予言者たち、そして今日私たちを支配する戦争犯罪人たちよりも社会をより良く運営できるのです。

人々はかつて、政治の世界では一週間が長い時間だと言われていた。しかし今ではたった1時間、あるいは1日で全てが変わるように感じられる。この党を創設する過程でどんな困難があったとしても今日この瞬間から、あらゆる多様性を持つ労働者階級と向き合い、団結した声で多様性を持つ労働者階級に向き合い、結束した声でこう宣言するならば、資本主義の政治家たちが皆言うのを諦めてしまったことを、「世界で6番目に豊かな国で人生はより良くなる」と。君はきれいな空気を吸い、良い食べ物を食べ、暖かい家で暮らせる。働く時間を減らし愛する人たちと過ごす時間を増やせる。そして隣人を見れば、彼らもまたうまくやっているとわかる。もちろん、彼らがたまたま億万長者でない限りは。

最後に、国家として我々は厳しい選択に直面している。社会主義か野蠻かの選択だ。そして我々は社会主義を選ぶ。

最後に、私が最も愛する引用句の一つをお伝えしよう。これは私が登壇した全てのイベントで用いてきたものです。アラン・ディ・ロイの言葉です。「もうひとつの世界は可能であるだけでなく、すでに近づいている。静かな日には、その息づかいが聞こえる」。

連帯を。どうも

ありがとう。どうもありがとう。